

クイック・レファレンス・ガイド

	TALAS	FLOAT	Fシリーズ	FX	VANILLA
技術用語の定義	<ul style="list-style-type: none"> > トラベル量：フォークの圧縮総量。 > サグ：通常の乗車ポジションで自転車に乗った際のフォークの圧縮量。 > 圧縮ダンピング：フォークの圧縮レートを制御します。 > リバウンド・ダンピング：フォークの伸張レートを制御します。 > プレロード：スプリングにかかる初期の力の量。 > スプリングレート：スプリングを1インチ圧縮するのに必要な力。 > FLOAT：Fox ロードオプティマムエアテックノロジー。 > Vanilla：FOX のコイルスプリングテクノロジー。 > TALAS：Travel Adjust Linear Air Spring (トラベル量調整リニアエアスプリング) の頭字語。 				
メンテナンスの間隔	<ul style="list-style-type: none"> > 各走行前のチェック：表面の洗浄と乾燥 > 25 時間ごと：ダストワイパーの汚れを取り、点検 > 100 時間ごと：ドロップアウトの厚さを点検 > 走行 200 時間ごと、または年に一度：ブッシング点検/オイル交換/エアチャンバの FLOAT 液交換 (FLOAT、F シリーズ、FX) 				
ツールおよび備品	<ul style="list-style-type: none"> > ゴーグル > パケツ/受け皿 > ペーパータオルおよび布切れ > プラスチック面のあるハンマー/マレット > トルクレンチ (in-lb / N-cm) > cc または mL 単位の計量容器 				
トルク値	<ul style="list-style-type: none"> > トップキャップ: 419.10 cm-lb > ボトムナット 127.00 cm-lb > プレキポスト 203.20 cm-lb > ホースガイド ネジ: 20.32 cm-lb > エアタンクバルブ 114.30 cm-lb > バルブコア 4 in-lb > リバウンド調節ノブ: 27.94 cm-lb 				
オイル量	<ul style="list-style-type: none"> > ダンパー: 160cc > ダンパー (X TT): 135cc > スプリング/ブッシング: 10cc > IFP エアチャンバ: 3cc > メインエアチャンバ: 5cc > ネガティブエアチャンバ: 3cc 				
保証事項	<p>FOX Racing Shox は、お客様のフォークまたは自転車の走行、移送、その他の使用によってお客様あるいは他者に発生した損害について責任を負いません。お客様のフォークが故障または正常に作動しない場合でも、FOX Racing Shox は、本マニュアルの保証事項の規定に従ったお客様のフォークの修理または交換を超える一切の責任または義務を負わないものとします。</p>				
保証書	<p>お買い上げのフォークの工場保証期間は、自転車またはフォークをお買い上げになった日から 1 年間 (EC 加盟国のお客様は 2 年間) とさせていただきます。保証サービスをお受けになる場合には、フォークをご購入時の元のレシートが必ず必要となります。保証に関しては、FOX Racing Shox がすべての決定権を有し、故障の原因となった材料および技術料のみをカバーします。保証期間および関連法については、州または国で異なる場合があります。</p> <p>また、お買い上げのフォークのシールについては、ご購入の日から 90 日間が対象期間となります。90 日の有効期間後は、通常の磨耗および消耗部品と見なされ、保証の対象外となります。</p> <p>通常の使用により摩耗、亀裂を起こす部品、コンポーネント、アセンブリに関しては、本保証の対象外となります。</p> <p>最終的な保証の決定権は、FOX Racing Shox が保持するものとします。</p>				
保証説明	<p>> FOX Racing Shox は、場合により所要時間は異なりますが、保証対象の作業を 48 時間以内に完了します。</p> <p>> 800.FOX.SHOX へ電話し、FOX Racing Shox に RA (返品確認) 番号と返送先住所をお尋ねください。米国外のお客様は、担当地域の国際サービスセンターにご連絡ください。</p> <p>> RA (返品確認) 番号および返送先をパッケージの外側に明記の上、対象製品を FOX Racing Shox あるいはお近くの国際サービスセンターにお送りください (なお、返送料金はお客様の負担となります)。</p> <p>> 保証を受ける場合には、製品ご購入時の領収書が必要となります。</p> <p>> パッケージ内には、問題点、自転車に関する情報 (製造メーカー、製造年月日、モデル)、FOX 製品のタイプ、スプリングレートおよび送り先の住所と昼間の連絡先電話番号を記載した紙をお入れください。</p>				
連絡先	<p>FOX Racing Shox 130 Hangar Way Watsonville, CA 95076 USA 電話北米: 1.831.274.6500 1.800.FOX.SHOX (369.7469) ファックス: 1.831.768.9312 E メール: service@foxracingshox.com ウェブサイト: www.foxracingshox.com 営業時間: 月 ~ 金 太平洋標準時間午前 8 時 ~ 午後 5 時</p>				
支払いおよびお届け方法	<p>Visa、Master カード、小切手をご利用頂けます。</p> <p>FOX Racing Shox は米国内のお客様に対し UPS Ground サービスで出荷しています。</p>				

目次

クイック・リファレンス・ガイド	134
この度は、当社のサスペンス部品をお買い上げいただき、ありがとうございます	136
安全事項	136
重要安全情報	136
FOX 32MM FORX の取り付け	137
ブレーキ	137
タイヤサイズ	138
フォークの用語	138
リバウンド調節 (全フォークモデル)	138
フォークのロックアウト (RLT, RLC & RL モデルのみ)	139
低速圧縮調節 (RC2 モデルのみ)	139
ブローオフの閥値調節 (RLT & RLC モデルのみ)	140
X ダンパーの解説	140
FOX 高圧エアポンプ使用 (36 TALAS)	140
TALAS: 141	
エアスプリングのチューニングおよびサグの設定	142
トラベル量の変更	143
フォークの維持	143
FLOAT: 144	
サグの設定	145
トラベル量の変更	146
フォークの維持	147
F シリーズ /FX: 148	
サグ設定	149
トラベル量の変更	150
フォークの維持	151
VANILLA : 152	
サグの設定	153
フォークのセットアップ	153
コイルスプリングの取り替え	154
フォークの維持	154
トラベル量の変更	155
チューニング時の注意事項	158
外国語版	
フランス語	28
イタリア語	54
オランダ語	80
スペイン語	106
日本語	134
国際サービスセンター	162



は、これに従わない場合には、致命的になりかねない重傷またはお買い上げのフォークに激しい損傷をもたらす危険性がある情報を意味します。



は、一見わかりにくい、または問題が起きた際に役立つ情報を意味します。

この度は、当社のサスペンス部品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この度は、FOX 32MM FORX をお選びいただき、ありがとうございます。本製品は、世界有数のサスペンションフォークとして知られています。FOX Racing Shox の全製品は、カリフォルニア州サンタクルーズで、業界屈指のスペシャリストによって設計、テスト、製造されています。

FOX Racing Shox 製品を取り付ける際には、最高の性能を発揮できるようフォークを正確にセットアップしてください。このマニュアルでは、フォークのセットアップとメンテナンス方法をステップごとに説明しています。また後日、アフターサービス、保証を受ける際のお買い上げ証明としてレシートが必要となりますので、本マニュアルと共に保管することをお勧めします。

メンテナンスに関する詳細な説明は、Fox サービスマニュアルの該当製品の項目をご覧ください。このマニュアルでは、ステップごとの精密な点検修理作業の説明を、意図的に行なっておりません。精密な点検修理作業は、FOX Racing Shox あるいは認定 FOX Racing Shox サービスセンターで行うことをお勧めしています。

安全事項

- > お手持ちの自転車およびサスペンションシステムを、常に最高の状態に維持してください。
- > 走行時には、体を保護する服、目を保護するためのゴーグル、ヘルメットを常に着用してください。
- > ご自身の限界を知り、その範囲内で走行します。
- > 国際マウンテンバイク協会のトレイル規則に従います。詳しくは、www.imba.com をご覧ください。
 1. オープントレイルのみを走行します。
 2. トレースを残さないようにします。
 3. 自転車を制御します。
 4. トレイルでは、常に道を譲ることを心掛けます。
 5. 動物を愛護します。
 6. しっかりと計画を立てます。

重要安全情報

- > 自転車の乗車前には、必ずブレーキが正しく取り付けられ調整されているかどうか確認します。ブレーキが正しく取り付けられていなかったり、正しく調整されていなかったりすると、コントロールを失い、致命的な重傷を負う場合がありますので、ご注意ください。メーカーによって FOX 32MM FORX 用に設計された V-タイプまたはディスクブレーキのみを使用します。固定具が付いたケーブルレバレッジ装置は使用しないでください。ブレーキケーブルやブレーキ収納部をステムに通さないでください。
- > フォークからオイルが漏れていた、上下に激しく動いたり、異常なノイズを発する場合は、直ちに FOX Racing Shox または FOX Racing Shox の正規サービスセンターに連絡してください。その状態で引き続きフォークを使用すると、コントロールを失い、重度あるいは致命的な傷害を引き起こすことがあります。スプリングの音、オイルが流れる音、小さいクリック音などは異常ではありません。
- > FOX Racing Shox 部品だけを使用してください。FOX 32MM FORX のアフターマーケット部品（非純正部品）を使用すると保証が無効になります。アフターマーケット部品を使用すると、構造上の不具合が生じ、その結果、コントロールを失い、重度あるいは致命的な傷害を引き起こすことがあります。
- > ドロップアウト部分でフォークを固定するよう設計されたキャリアに自転車を固定させる場合は、自転車がどちら側にも傾かないよう十分注意する必要があります。ドロップアウト付きの自転車をキャリアに固定した状態で傾けると、フォークに構造上の損傷を与える場合があります。フォークがクイックリリースでしっかり固定され、リアホイールも正しく固定されていることを確認します。自転車がキャリアに固定された状態で傾いたり、キャリアから落ちた場合は、正規ディーラー、認定サービスセンター、または FOX Racing Shox の検査を受けるまで乗車しないでください。フォークレグやドロップアウトに問題があると、コントロールを失い、重度あるいは致命的な傷害を引き起こすことがあります。
- > FOX 32MM FORX にはオンロード用のリフレクターは含まれていません。FOX 32MM FORX は競争用オフロード走行およびレースを目的に設計されています。このフォークを一般道路の走行に使う場合は、米国消費者製品安全委員会 (CPSC) の規定に準拠する適切なリフレクターを取り付ける必要があります。
- > FOX 32MM FORX の一部は、クラウン、ステアラー、アッパーチューブの各部品からなるアセンブリです。これらの部品は、一回の精密圧入加工によってアセンブリにプレスされます。これらのどの部品の交換にも、新しいアセンブリが一式必要となります。ステアラーやアッパーチューブをクラウンから外したり交換したりすることは、避けてください。また、溝なしのステアラーに溝を付けしないでください。このクラウン、ステアラー、アッパーチューブアセンブリを改造すると、自転車のコントロールロスにつながり、重度あるいは致命的な傷害を引き起こすことがあります。

32MM FORX の取り付け

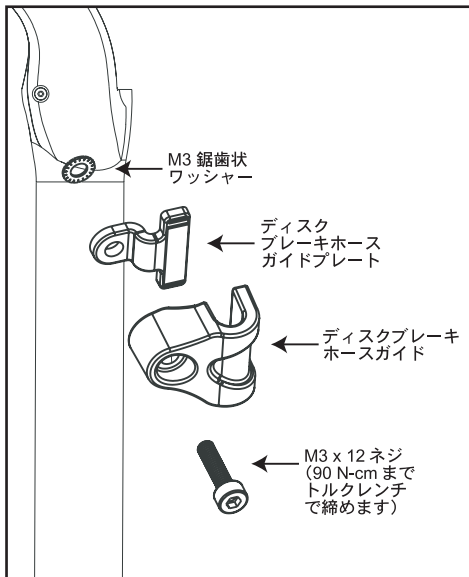
FOX Racing Shox は、お持ちの自転車に FOX 32MM FORX を取り付けの際には、資格を有する自転車専門技術者に依頼することを強くお勧めします。適切に取り付けられていないフォークは大変危険で、コントロールを喪失し、重度または致命的な障害を引き起こすことがあります。

1. 自転車から、現在取り付けられているフォークを取り外します。フォークからクラウンレースを取り外します。現在取り付けられているフォークのステアラーチューブの長さを測定します。FOX 32MM FORX ステアラーにも同じ測定値を使います。ステムメーカーの使用説明書を参照して、ステムを締めるのに必要な長さが残っているかどうかを確認します。ステアラーチューブを切断しなければならない場合は、2回長さを測定し1回で切ります。ステアラーチューブを切る際に、カッティングガイドツールを使うことをお勧めします。

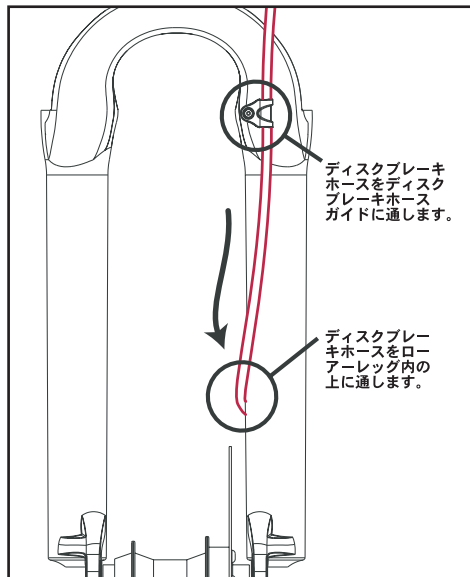


ステアラーに切れ目や溝がある場合は、クラウン / ステアラー / アッパーチューブアセンブリを交換する必要があります。ステアラーの切れ目や溝によってステアラーが回復不能の故障を起こしかねず、コントロールロスを招き、その結果、重度または致命的な障害を引き起こすことがあります。

2. クラウンレースセッターを使い、クラウンの上部にクラウンレースをしっかり装着します。星状のつばがついたナットを、そのナット専用のツールでステアラーチューブに取り付けます。
3. 自転車にフォークを取り付けます。ヘッドセットは、抵抗やゆるみのない状態で自由に回転するように調節します。
4. ブレーキの使用説明書を参照しながら、ブレーキを再び取り付け、ブレーキパッドを正確に調節します。お持ちのフォークがディスクブレーキ専用モデルの場合は、フロントディスクブレーキホースを同梱のディスクブレーキホースガイドを通して取り付けます。ディスクブレーキホースガイド部品を下図に示すように組み立てます。ディスクブレーキホースガイドに M3 x 12 ネジをトルクレンチで締めます (90 N-cm)。



ディスクブレーキホースガイドパーツオリエンテーション



ディスクブレーキホースガイドプレート

ブレーキ

リニアブル

リニアブルブレーキ (例: Vブレーキ) は、ブレーキポスト装備の FOX 32MM FORX に使用できます。リニアブルブレーキをメーカーの説明書に従って取り付け調整します。平らな場所でブレーキが正しく作動するかどうかテストします。FOX 32MM FORX は、ハンガーレスローアーレック設計であるため、カンチレバーブレーキを使用することはできません。

ディスク

FOX 32MM FORX には、160～203mm のローター付きディスクブレーキが使用できます。203mm より大きいローターは使用しないでください。メーカーの明細事項に従ってディスクブレーキを取り付け、留め具をすべてトルクレンチで締めます。ブレーキを取り付け、自転車を走らせ、すべてのケーブルや油圧ホースがローアーレグにしっかり固定され、フォークが圧縮しても動かないことを確認します。正しいアライメントを維持し、ずれを最小にするため、新しいディスクブレーキパッドを取り付けることをお勧めします。平らな場所でブレーキが正しく作動するかどうかテストします。



ブレーキメーカーのトルク指定値に従ってキャリパーを締め付けてください。

5. フロントホイールの取り付け方法：クイックリリースナットがフォークドロップアウトの座ぐりに収まっているかを確認します。クイックリリースは、4つ以上の溝と合わさっている必要があります。左側のフォークレグの前に位置し、フォークレグに対し平行になっているレバーを使ってクイックリリースを閉じます。

タイヤサイズ

FOX 32MM FORX は、幅 2.40 インチ (61mm) までのタイヤ (例：WTB MotoRaptor 55/60、26 x 2.40) に使用できます。26 x 2.30 インチ (660 mm x 66 mm) より大きなタイヤに対しては、以下の方法でクリアランスチェックを行う必要があります。

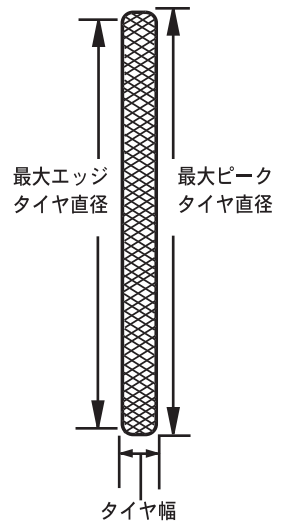
タイヤサイズの判定方法

タイヤをリムに取り付けて空気を入れ、以下の3つの長さを測定します。

最大ピークタイヤ直径 =	686 mm	= 68.58 cm.
最大エッジタイヤ直径 =	652 mm	= 65.20 cm.
最大タイヤ幅 =	61mm	= 6.10 cm.



上記の最大値を1つでも超えるタイヤは使用しないでください。上記の最大値を超えるタイヤの使用は、重度または致命的な傷害を引き起こす原因となるので、お勤めできません。



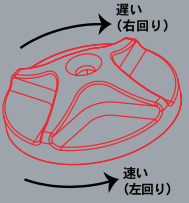
フォークの用語

- > **トラベル量**：フォークの圧縮総量。
- > **サグ**：通常の乗車ポジションで自転車に乗った際のフォークの圧縮量。
- > **圧縮ダンピング**：フォークの圧縮レートを制御します。
- > **リバウンド・ダンピング**：フォークの伸張レートを制御します。
- > **プレロード**：スプリングにかかる初期の力の量。
- > **スプリングレート**：スプリングを1インチ圧縮するのに必要な力。

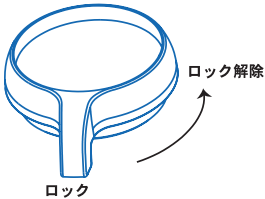
リバウンド調節 (全フォークモデル)

リバウンドノブは、右側のフォークレグ上部にある赤いノブで、12段階のクリック調整が可能です。リバウンドによって、圧縮後のフォークの伸張速度が制御されます。ノブを右方向に回すとリバウンドが遅くなり、ノブを左方向に回すとリバウンドが早くなります。

走行開始時にはリバウンド調節ノブを右回りに止まるまで完全に回した後、左回りに6クリック回します。

リバウンド	ノブの設定 (フルインから OUTヘクリック)	設定の説明	チューニングのヒント	設定のヒント
 <p>遅い (右回り)</p> <p>速い (左回り)</p> <p>トップキャップ上の右側のノブ</p>	1 ↑	遅いリバウンド	遅すぎると、フォークが沈み込み、固い乗心地となります。	スプリングレートまたは空気圧を増加する時には、リバウンドを遅くする必要があります。
	6 (工場出荷時の設定)	平均的なリバウンド		
	12 ↓	速いリバウンド	速すぎると、トラクションが少なく、ホッピングが起きます。	スプリングレートまたは空気圧を減少する時には、リバウンドの設定を速める必要があります。

フォークのロックアウト (RLT, RLC & RL モデルのみ)



青色の圧縮ロックアウトレバーが、赤色のリバウンド調節ノブの下にあります。これによって、乗り手はフォークの圧縮ダンピングを閉じることができます。それがフォークを最大トラベル量に維持し、圧縮を防ぎます。レバーを右方向に6時の位置まで回し、ロックアウトします。このポジションは、昇りやスプリントの際に便利ですが、乗り手の体重による沈み込みが起きます。

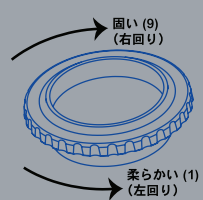
大きな衝撃がロックアウトされたフォークに走ったときに、フォークが“ブローオフ”します。ロックを解除するには、レバーを左方向に3時の位置まで回します。それによってカートリッジは“オープン”モードになり、通常の圧縮ダンピングが得られるようになります。



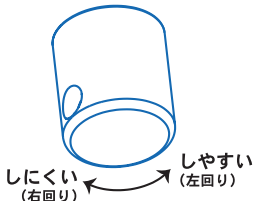
フォークはロックアウトの状態になった後、一回転することがあります。完全なロックアウトが得られた後に、フォークが引き続き3～5mm動くことがあります。これは通常の状態であり、性能には影響しません。

低速圧縮調節 (RLC モデルのみ)

低速圧縮ダンピングは、青のロックアウトレバーの下にある青色のベゼルリングを使うと調整できます。これによってフォークの圧縮レートが制御されます。

低速圧縮	ノブの設定 (フルアウトから INヘクリック)	設定の説明	チューニングのヒント
 <p>固い (9) (右回り)</p> <p>柔らかい (1) (左回り)</p> <p>トップキャップ上の右側のダイヤル</p>	1 ↑	柔らかい圧縮	最大のホイールのトラクションとパンプに対する柔軟性柔らかすぎると、過度のブレーキダイブが起きたり、ふらつきを感じたりします。
	5 (工場出荷時の設定)	平均的圧縮	
	9 ↓	固い圧縮	ブレーキダイブが少なく、トラベルの高い位置にフォークを保ちます。固すぎる、ルーズな状態でトラクションが弱くなります。

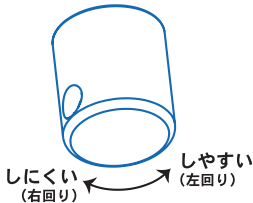
ブローオフの閾値調節 (RLT & RLC モデルのみ)



この機能は、右側のフォークレグの底部にある青色のノブで調節します。ノブを右回りに回すとブローオフしにくくなり、左回りに回すとブローオフしやすくなります。

12クリックの調節段階があります。走行開始時には、ノブを右回りに止まるまで完全に回した後、左回りに1クリック回します。

X ダンパーの解説



X ダンパーは、慣性バルブによって制御されるロックアウト機能を持ち、トレイルからの衝撃を受けるまでロックアウトの状態を保ちます。F80X および F100X は、ロックアウトが固いものの、乗り手の体重による沈み込みが起こります。FLOAT 130X は "トレイル同調" により、固いペダリングプラットフォームを得られますが、ロックアウトしません。

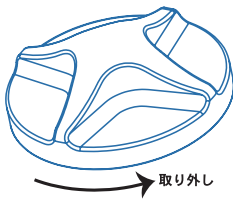
バンプ閾値調節 (F80x、F100x、Float 130X モデルのみ)

この機能は、右側のフォークレグの下部にある青色のノブで調節します。この機能によって、フォークがロックアウトされている際に、フォークをブローオフするのに必要な力を調節できます。ノブを右方向に回し、プラスマスバルブを開きにくくする (高い衝撃閾値) か、左方向に回し、プラスマスバルブを開きやすく (低い衝撃閾値) します。

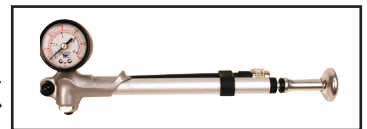
22クリックの調節段階があります。工場出荷設定は、フルアウト (左方向) してから6クリック (右方向) の状態です。

FOX 高圧エアポンプ使用

FOX の高圧エアポンプ (右図参照) で、お持ちの Fox フォークの空気圧を変更します。



1. 右フォークレグの上部のエアキャップ (左図) を取り外します (TALAS フォークについては、142 ページの **エアスプリングのチューニングおよびサグの設定** の項目を参照)。ポンプゲージのシュレーダーバルブにチャックを通し、ポンプが接続するようにします。これには約6回転が必要です。フォークに空気圧がない場合は、ゲージに圧力が表示されません。この際、締めすぎるとポンプのチャックシールに損傷を及ぼすことがありますので、注意してください。



FOX 高圧ポンプ

2. ポンプを数回回転させて圧力を上げます。圧力が少しずつ増えていくはずですが。圧力が急激に上昇する場合は、ポンプがシュレーダーバルブに正しく接続されているかどうかをチェックしてください。

3. 圧力を低くする場合には、黒いブリードバルブを押してください。ブリードバルブを半分ぐらいまで押したまま維持すると、継続的に減圧できます。ブリードバルブを最後まで押すと、徐々に減圧できます (マイクロ調節)。
4. ポンプはチャックを外すことで取り外します。空気が漏れる音はポンプのホースから聞こえ、フォークからは聞こえません。
5. エアキャップをした後、乗車します。



ポンプをつなげる場合、ポンプホースにエアが入るため、ゲージは通常より低い 2 - 8 PSI (0.14-0.55 bar) を示す場合があります。正常な圧力は 45PSI と 125PSI (3.1 - 8.6) の間です。絶対に 200 PSI を越えないようにしてください。

TALAS

	RLC	RL	R
トラベル量	TALAS — 5.0インチ (130mm) — 3.5インチ (90mm)		
機能	<ul style="list-style-type: none"> > エアスプリング圧 > リバウンド > 低速圧縮 > ロックアウト > ロックアウト閾値 	<ul style="list-style-type: none"> > エアスプリング圧 > リバウンド > ロックアウト 	<ul style="list-style-type: none"> > エアスプリング圧 > リバウンド
調整	<ul style="list-style-type: none"> > トラベル量：青色レバー (left leg) > リバウンド：ノブ (赤色) > ロックアウト青色レバー (右レッグ) > 低速圧縮：青色ダイヤル > ロックアウト閾値：右フォークレッグ底部の青いノブ 	<ul style="list-style-type: none"> > トラベル量：青色レバー (左レッグ) > リバウンド：ノブ (赤色) > ロックアウト青色レバー (右レッグ) 	<ul style="list-style-type: none"> > トラベル量：青色レバー (左レッグ) > リバウンド：ノブ (赤色)

リバウンド (全モデル)

低速圧縮 (RLCのみ)

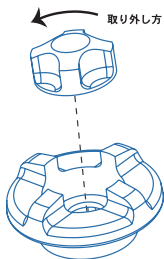
ロックアウトレバー (RLC & RLのみ)



エアスプリングのチューニングおよびサグの設定

TALAS (トラベルアジャスタブルリニアエアスプリング) は、リニアエアスプリングレートを児童調節しながら走行中のトラベル調節を可能にし、幅広いトラベル範囲を通し最高の走行パフォーマンスを提供する現在特許申請中の FOX のエアスプリングシステムです。

お買い上げの TALAS フォークの性能を最大限にするには、サグを設定・調節する必要があります。一般に、フォークのトラベル総量の 15~25% にサグを設定します。



1. TALAS レバーが回らないように押さえ、中央の TALAS エアキャップを左方向に回して外し（左図参照）、シュレーダーバルブが見えるようにします。
2. FOX Racing Shox 高圧ポンプをシュレーダーバルブに取り付けます（140 ページの FOX 高圧エアポンプ使用を参照）。
3. TALAS レバーを 130mm トラベルセッティング（時計の 9 時の位置）まで完全に右回りに回して設定し、フォークが完全に伸び切るようにフォークを数回回します。
4. 下記のエアスプリング設定表を参照し、TALAS フォークが乗り手の体重にふさわしい圧力になるよう、ポンプを使い空気を注入します。

5. アッパーチューブに少し摩擦が生じるぐらいにジップタイを取り付け、フォークシールに接触するまで下方に押します。注意して自転車に乗り、通常の乗車ポジションを取ります。フォークがかすかに圧縮するはずですが、それ以上フォークを圧縮しないように注意し、自転車から降ります。シールとジップタイの距離を測ります。これがお客様のサグです。

6. サグ測定値を下記のサグ設定表と照らし合わせます。必要な場合は、再度調節を行ないます。

エアスプリングの設定

乗り手の体重	空気圧
< 125 lbs. (57 kg)	50 psi (3,44 bar)
125 - 135 lbs. (57-61)	55 psi (3,79)
135 - 145 lbs. (61-66)	60 psi (4,14)
145 - 155 lbs. (66-70)	65 psi (4,48)
155 - 170 lbs. (70-77)	70 psi (4,83)
170 - 185 lbs. (77-84)	80 psi (5,52)
185 - 200 lbs. (84-91)	90 psi (6,21)
200 - 215 lbs. (91-97)	100 psi (6,89)
215 - 230 lbs. (97-104)	115 psi (7,93)
230 - 250 lbs (104-113)	125 psi (8,62)

サグの設定

トラベル量:	XC / Race FIRM	フリーライド PLUSH
90mm (3.5")	12mm (1/2")	20mm (13/16")
110mm (4")	15mm (9/16")	25mm (1")
130mm (5")	20mm (13/16")	33mm (1 5/16")

サグのトラブルシューティング

兆候	処置
サグが大き過ぎる状態	5psi 単位で空気圧増加
サグが小さ過ぎる状態	5psi 単位で空気圧減少
ボトミングが大き過ぎる状態	5psi 単位で空気圧増加
固い乗心地、フルトラベルが有効に使われていない	5psi 単位で空気圧減少

トラベル量の変更

トラベル量は自転車に乗っていても乗っていなくても変更可能です。

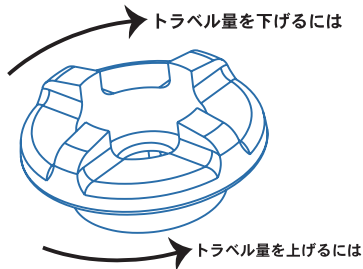
トラベル量を下げるには

150 mm（最大に伸張させた状態）のトラベル量から、TALAS のノブ（前ページ写真 1）を右回りに回してトラベル量を短くします。1回のクリックごとに 3 mm トラベル量が変わります。3.5 回転中に 15 ポジションの設定があります。

ノブを必要な回数だけクリックした後、フォークを数秒圧縮してそのまま維持します。2、3 回フォークを回すと、下げたトラベル量にフォークが維持されます。

トラベル量を上げるには

下げたトラベル量から、TALAS のノブを左回りに回してトラベル量を上げます。ノブを必要な回数だけクリックした後、前輪を数秒上げフォークを伸張させます。



フォークの維持

TALAS Forx は、独占技術を用いたシールが使われ、メンテナンスを事実上無用にしています。TALAS システムを 18ヶ月ごとに再構築することをおすすめします。このマニュアルの表紙裏にある **クイック・リファレンス・ガイド** を参照し、交換用キットおよびシールのパートナンバーや、他の必要な情報を調べてください。



左側のフォークレグの下部にあるスロットは調整用ではありませんので、注意してください。これは TALAS ベーススタッドから下部のナットを緩めるときに使用します。



TALAS トップキャップは、適切な加圧工具を有する正規の FOX Racing Shox サービスセンター以外では、外さないでください。

FLOAT

	RLC	RL	R	X TRAILTUNE
トラベル量	5.1 インチ (12.95 cm)			
機能	<ul style="list-style-type: none"> > エアスプリング圧 > リバウンド > 低速圧縮 > ロックアウト > 衝撃閾値 > 統合ディスクブレーキガイド 	<ul style="list-style-type: none"> > エアスプリング圧 > リバウンド > ロックアウト > 統合ディスクブレーキガイド 	<ul style="list-style-type: none"> > エアスプリング圧 > リバウンド > 統合ディスクブレーキガイド 	<ul style="list-style-type: none"> > トレイル同調 > リバウンド > 衝撃閾値 > 統合ディスクブレーキガイド
調整	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > 低速圧縮：青色ダイヤル > ロックアウト青色レバー > バンプ閾値調節 右フォークレグ底部の青色ノブ 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > ロックアウト青色レバー 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > バンプ閾値調節 右フォークレグ底部の青色ノブ

リバウンド調節器 (全モデル)

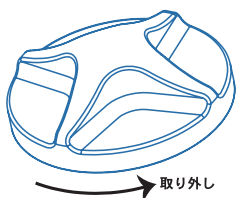
低速圧縮調節部位 (RLCのみ)

ロックアウトレバー (RLCとRLのみ)



サグの設定

お買い上げのFLOATフォークの性能を最大限にするには、サグを設定・調節する必要があります。一般に、フォークのトラベル総量の15-25%にサグを設定します。



1. 左フォークレグ上部にある中央の青いエアキャップを外し（左図参照）、シュレーダーバルブが出るようにします。
2. FOX Racing Shox 高圧ポンプをシュレーダーバルブに取り付けます（FOX 高圧エアポンプ使用は、140ページを参照）。
3. 下記のエアスプリング設定表を産証し、FLOATフォークが正しい設定になるようにポンプで注入します。
4. アッパーチューブに少し摩擦が生じるぐらいにジップタイを取り付け、フォークシールに接触するまで下方に押します。注意して自転車に乗り、通常の乗車ポジションを取ります。フォークがかすかに圧縮するはずで、それ以上フォークを圧縮しないように注意し、自転車から降ります。シールとジップタイの距離を測ります。これがお客様のサグです。

5. サグ測定値を下記のサグ設定表と照らし合わせます。

サグ値が表の値より低い場合は、ポンプのフィッティングを締め、現在の空気圧設定を書き留め、黒いブリードバルブを押してゲージ圧を5 psi (0.34bar) 下げます。必要であれば、再度サグを測り、調節します。

サグ値が表の値より高い場合は、ポンプのフィッティングを締め、現在の空気圧設定を書き留め、ポンプしてゲージ圧を5 psi (0.34bar) 上げます。必要であれば、再度サグを測り、調節します。

6. 青いエアキャップを再び締めてから乗車します。

エアスプリングの設定

乗り手の体重	空気圧
< 125 lbs. (57 kg)	45 psi (3,10 bar)
125 - 135 lbs. (57-61)	50 psi (3,45)
135 - 145 lbs. (61-66)	55 psi (3,79)
145 - 155 lbs. (66-70)	65 psi (4,48)
155 - 170 lbs. (70-77)	75 psi (5,17)
170 - 185 lbs. (77-84)	85 psi (5,86)
185 - 200 lbs. (84-91)	95 psi (6,55)
200 - 215 lbs. (91-97)	105 psi (7,24)
215 - 230 lbs. (97-104)	115 psi (7,93)
230 - 250 lbs (104-113)	125 psi (8,62)

サグの設定

トラベル量:	XC / Race FIRM	フリーライド PLUSH
90mm (3.5")	12mm (1/2")	20mm (13/16")
110mm (4")	15mm (9/16")	25mm (1")
130mm (5")	20mm (13/16")	33mm (1 5/16")

サグのトラブルシューティング

兆候	処置
サグが大き過ぎる状態	5psi 単位の (+) 空気圧
サグが小さ過ぎる状態	5psi 単位の (-) 空気圧
ボトミングが大き過ぎる状態	5psi 単位の (+) 空気圧
固い乗心地、フルトラベルが有効に使われていない	5psi 単位の (-) 空気圧

トラベル量の変更

FLOAT フォークのトラベル量は、内部トラベルスペーサーの位置を変えることで変更することができます。トラベル量を変更した後、乗車前にフォークが正しく作動するかどうかチェックします。フォークがぐらついたり、異常なノイズを発したりする場合には、フォークを解体してスペーサーの数と方向が正しいかどうかチェックしてください。



FLOAT フォークは、147 ページの図のようにして、トラベル量を減少することができます。フォークのトラベル量を、130mm 以上に増加することはできません。

Float のトラベル量変更に必要な工具

26mm の 6 ポイントのソケット	10mm ソケット	小さいドライバー
トルクレンチ	2mm ヘキサキーレンチ	オイル受け皿
1.5mm のヘキサキーレンチ	プラスチック面のあるハンマー／マレット	cc または mL 単位の計量容器

Float のトラベル量変更に必要な付属品

数量	部品番号	部品名
1	025-03-004-A	1 qt (946 ml) ボトルの Fox サスペンション液 (7 wt)
1	025-03-002	5cc ピローパックの Fox FLOAT 液
2	241-01-002-C	クラッシュワッシャー
1	803-00-078	FLOAT Forx エアピストンシールキット (オプション)

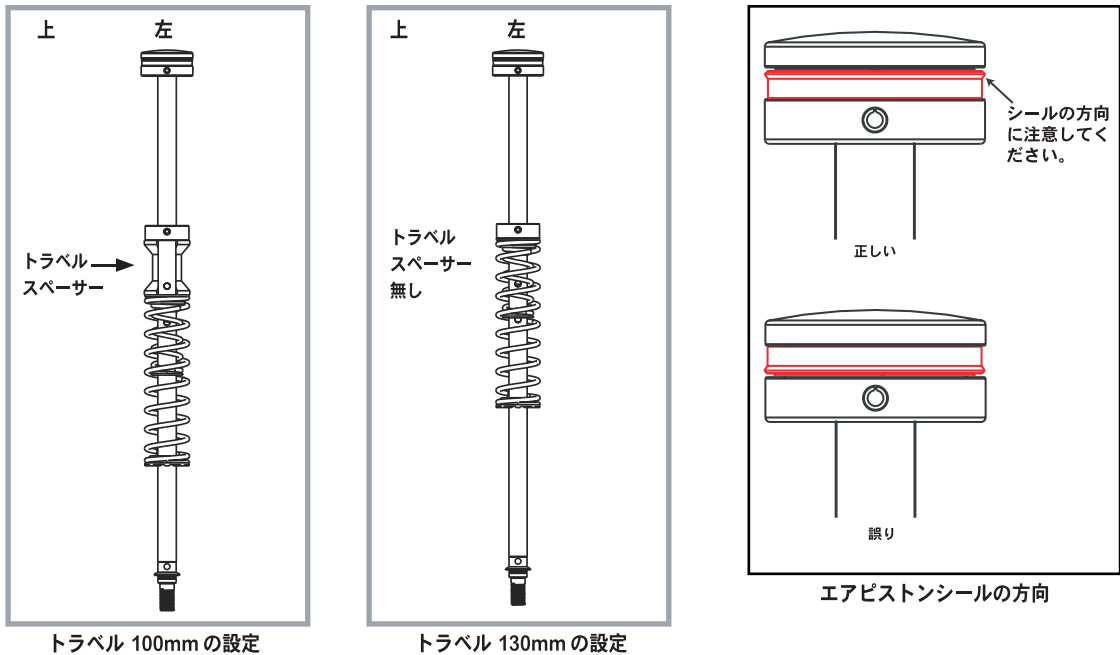
1. 左フォークレグ上部から青色のエアキャップを外します。フォークから空気を出します（ポンプを使って空気を出す方法は、140 ページの FOX 高圧エアポンプ使用を参照）。26 mm の六角形ソケットレンチを使って左側のトップキャップを外します。
2. 底部のナットを 10mm レンチで 3、4 回転させて緩めます。プラスチック面のあるハンマーでシャフト底部を軽く叩き、ローアーレグからシャフトを取り外します。オイル受け皿にオイルを排出します。底部のナットとクラッシュワッシャーを外します。
3. フォークをできるだけ圧縮します。エアピストンはアッパーチューブ上部先端から 25mm ほど下に見えます。エアシャフトの底部を上方に押し、エアピストンをアッパーチューブの上部から押します。長く薄いシャフトドライバーを使ってエアシャフトの底部をローアーレグの底部にある穴から押し上げます。
4. エアシャフトアセンブリをフォークから引き出します。次ページの図を参照して適切なスペーサーを追加または取り除き、必要なトラベル量を実現します。



スペーサーは、負のスプリングガイドとトップアウトプレートの間にあるエアシャフトにカチッとハマるようにする必要があります。次ページの 100mm 設定を参照してください。

5. エアピストンの U カップシールの表面を FOX FLOAT 液で滑らかにして、エアシャフトアセンブリをアッパーチューブに再び取り付けます。シャフトをフォークの底部にある穴に向けて押します。この際、底部の穴の先端まではシャフトを押さないようにしてください。
6. フォークを逆さにします。30cc の FOX サスペンション液を底部の穴から入れます。
7. エアシャフトアセンブリをシャフトが底部の穴から出てくるまで押し上げます。クラッシュワッシャーと底部のナットを取り付けます。取り付け用のトルク値は 565 N-cm までです。

8. フォークの右側を上に入します。5ccのFOX FLOAT液をエアピストンの上部から入れます。
9. エアトップキャップのOリングをFOX FLOAT液で滑らかにします。トップキャップを取り付け1865 N-cmまでトルクレンチで締めます。
10. フォークに必要な圧力になるまで空気を入れ、数回回して適切に作動しているかどうかチェックします。青色のエアキャップを再び取り付けます。
11. これで作業完了です。走行をお楽しみください。



FLOAT Forx トラベルスパーサー図

フォークの維持

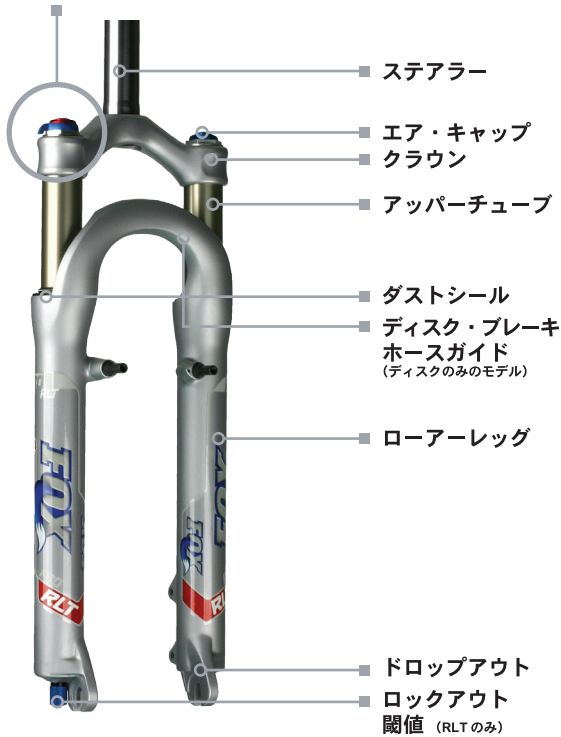
FLOAT Forx には、独占技術によるシールが使われ、メンテナンスを事実上無用にしています。このマニュアルの表紙裏にあるクイック・リファレンス・ガイドを参照し、交換用キットおよびシールのパートナンバーや、他の必要な情報を調べてください。

F SERIES/FX

	Fシリーズ			FX
	F100RLT F80RLT	F100RL F80RL	F100R F80R	F100X F80X
トラベル量	3.9インチ / 100mm (F100) 3.1インチ / 80mm (F80)			
機能	> エアスプリング圧 > リバウンド > ロックアウト > ロックアウト閾値 > 統合ディスクブレーキガイド	> エアスプリング圧 > リバウンド > ロックアウト > 統合ディスクブレーキガイド	> エアスプリング圧 > リバウンド > 統合ディスクブレーキガイド	> エアスプリング圧 > リバウンド > バンプ閾値
調整	> リバウンド：ノブ (赤色) > ロックアウト青色レバー > ロックアウト閾値：右フォークレッグ底部の青色ノブ	> リバウンド：ノブ (赤色) > ロックアウト青色レバー	> リバウンド：ノブ (赤色)	> リバウンド：ノブ (赤色) > バンプ閾値：右フォークレッグ底部の青いノブ

Fシリーズ

リバウンド (全モデル)
ロックアウトレバー (RLTとRLのみ)



FX

リバウンド (全モデル)



サグの設定

お買い上げのFシリーズ／FXフォークの性能を最大限にするには、サグを設定・調節する必要があります。一般に、フォークのトラベル総量の15?25%にサグを設定します。



1. 左フォークレグ上部にある中央の青いエアキャップを外し（左図参照）、シュレダーバルブが出るようにします。
2. FOX Racing Shox 高圧ポンプをシュレダーバルブに取り付けます（FOX 高圧エアポンプ使用は、140 ページを参照）。
3. 下記のエアスプリング設定表を産証し、左フォークレグ上部にある中央の青いエアキャップを外し、Fシリーズが正しい設定になるようにポンプで注入します。
4. アッパーチューブに少し摩擦が生じるぐらいにジップタイを取り付け、フォークシールに接触するまで下方に押し下ろします。注意して自転車に乗り、通常の乗車ポジションを取ります。フォークがかすかに圧縮するはずですが、それ以上フォークを圧縮しないように注意し、自転車から降ります。シールとジップタイの距離を測ります。これがお客様のサグです。

5. サグ測定値を下記のサグ設定表と照らし合わせます。

サグ値が表の値より低い場合は、ポンプのフィッティングを締め、現在の空気圧設定を書き留め、黒いプリードバルブを押してゲージ圧を5 psi (0.34bar) 下げます。必要であれば、再度サグを測り、調節します。

サグ値が表の値より高い場合は、ポンプのフィッティングを締め、現在の空気圧設定を書き留め、ポンプしてゲージ圧を5 psi (0.34bar) 上げます。必要であれば、再度サグを測り、調節します。

6. 青いエアキャップを再び締めてから乗車します。

エアスプリングの設定

乗手手の体重	空気圧
< 125 lbs. (57 kg)	45 psi (3,10 bar)
125 - 135 lbs. (57-61)	50 psi (3,45)
135 - 145 lbs. (61-66)	55 psi (3,79)
145 - 155 lbs. (66-70)	65 psi (4,48)
155 - 170 lbs. (70-77)	75 psi (5,17)
170 - 185 lbs. (77-84)	85 psi (5,86)
185 - 200 lbs. (84-91)	95 psi (6,55)
200 - 215 lbs. (91-97)	105 psi (7,24)
215 - 230 lbs. (97-104)	115 psi (7,93)
230 - 250 lbs (104-113)	125 psi (8,62)

サグの設定

トラベル量:	XC / Race FIRM	フリーライド PLUSH
90mm (3.5")	12mm (1/2")	20mm (13/16")
110mm (4")	15mm (9/16")	25mm (1")
130mm (5")	20mm (13/16")	33mm (1 5/16")

サグのトラブルシューティング

兆候	処置
サグが大き過ぎる状態	5psi 単位の (+) 空気圧
サグが小さ過ぎる状態	5psi 単位の (-) 空気圧
ボトミングが大き過ぎる状態	5psi 単位の (+) 空気圧
固い乗心地、フルトラベルが有効に使われていない	5psi 単位の (-) 空気圧

トラベル量の変更

Fシリーズフォークのトラベル量は、内部トラベルスパーサーの位置を変えることにて変更できます。トラベル量を変更した後、乗車前にフォークが正しく作動するかどうかチェックします。フォークがぐらついたり、異常なノイズを発したりする場合には、フォークを解体してスパーサーの数と方向が正しいかどうかチェックしてください。



F80 および F100 フォークは、151 ページの図のようにしてトラベル量を減少することができます。フォークの初期設定を超えたトラベル量の設定はできません。

Fシリーズのトラベル量変更に必要な工具

26mm の 6 ポイントのソケット	10mm ソケット	小さいドライバー
トルクレンチ	2mm ヘクサキーレンチ	オイル受け皿
1.5mm のヘクサキーレンチ	プラスチック面のあるハンマー／マレット	cc または mL 単位の計量容器

FLOAT のトラベル量変更に必要な付属品

数量	部品番号	部品名
1	025-03-004-A	1 qt (946 ml) ボトルの Fox サスペンション液 (7 wt)
1	025-03-002	5cc ピローパックの Fox FLOAT 液
2	241-01-002-C	クラッシュワッシャー
1	803-00-078	FLOAT Forx エアピストンシールキット (オプション)

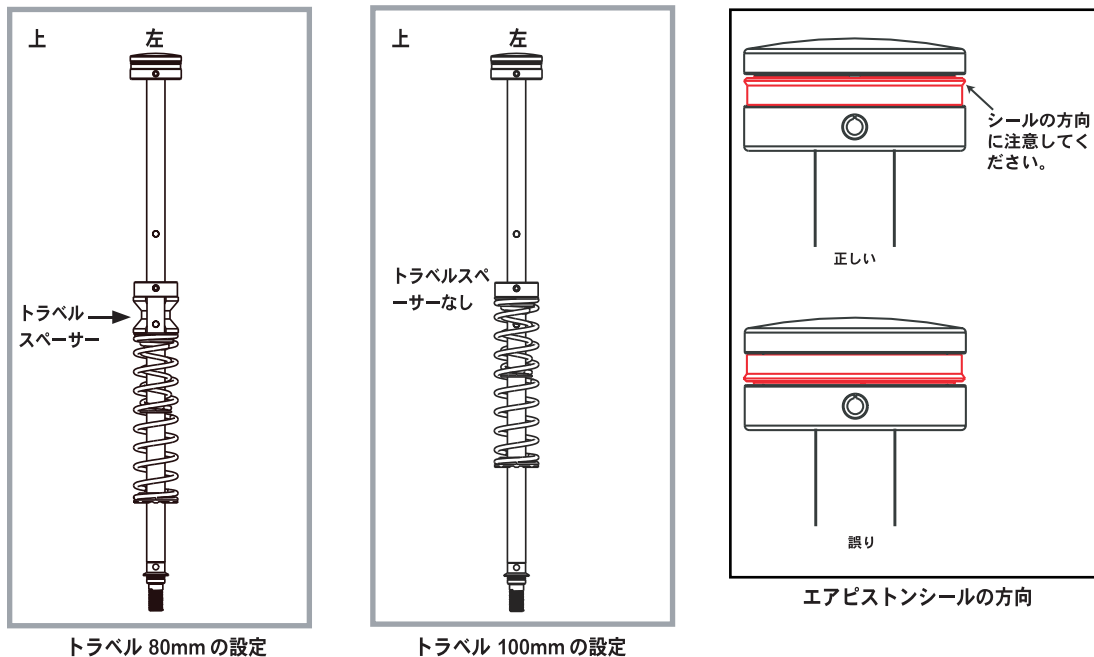
1. 左フォークレグ上部から青いエアキャップを外します。フォークから空気を出します（ポンプを使って空気を出す方法は、143 ページの FOX 高圧エアポンプ使い方を参照）。26 mm の六角形ソケットレンチを使って左側のトップキャップを外します。
2. 底部のナットを 10mm レンチで 3、4 回転させて緩めます。プラスチック面のあるハンマーでシャフト底部を軽く叩き、ローアーレグからシャフトを取り外します。オイル受け皿にオイルを排出します。底部のナットとクラッシュワッシャーを外します。
3. フォークをできるだけ圧縮します。エアピストンはアッパーチューブ上部先端から 25mm ぐらいに下に見えます。エアシャフトの底部を上方に押し、エアピストンをアッパーチューブの上部から押します。長く薄いシャフトドライバーを使ってエアシャフトの底部をローアーレグの底部にある穴から押し上げます。
4. エアシャフトアセンブリをフォークから引き出します。次ページの図を参照にして適切なスパーサーを追加または取り除き、必要なトラベル量を実現します。



スパーサーは、負のスプリングガイドとトップアウトプレートの間にあるエアシャフトにカチッとハマるようにしています。次ページの 80MM 設定を参照してください。

5. エアピストンの U カップシールの表面を FOX FLOAT 液で滑らかにして、エアシャフトアセンブリをアッパーチューブに再び取り付けます。シャフトをフォークの底部にある穴に向けて押します。この際、底部の穴の先端まではシャフトを押さないようにしてください。
6. フォークを逆さにします。30cc の FOX サスペンション液を底部の穴から入れます。

7. エアシャフトアセンブリをシャフトが底部の穴から出てくるまで押し上げます。クラッシュワッシャーと底部のナットを取り付けます。取り付け用のトルク値は565 N-cm までです。
8. フォークの右側を上にします。5ccのFOX FLOAT液をエアピストンの上部から入れます。
9. エアトップキャップのOリングをFOX FLOAT液で滑らかにします。トップキャップを取り付け1865 N-cm までトルクレンチで締めます。
10. フォークに必要な圧力になるまで空気を入れ、数回回して適切に作動しているかどうかチェックします。青色のエアキャップを再び取り付けます。
11. これで作業完了です。走行をお楽しみください。



F100 Forx トラベルスペーサー図

フォークの維持

Fシリーズ Forx には、独占技術によるシールが使われ、メンテナンスを事実上無用にしています。このマニュアルの表紙裏にあるクイック・リファレンス・ガイドを参照し、交換用キットおよびシールのパートナンバーや、他の必要な情報を調べてください。

VANILLA

	RLC	RL	R
トラベル量	5.1 インチ (12,95 cm)		
機能	<ul style="list-style-type: none"> > コイルスプリングのプリロード > リバウンド > 低速圧縮 > ロックアウト > ロックアウト閾値 > 統合ディスクブレーキガイド 	<ul style="list-style-type: none"> > コイルスプリングのプリロード > リバウンド > ロックアウト > 統合ディスクブレーキガイド 	<ul style="list-style-type: none"> > コイルスプリングのプリロード > リバウンド > 統合ディスクブレーキガイド
調整	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > プレロード：右フォークレグ上部の青色ノブ > 低速圧縮：青色ダイヤル > ロックアウト青色レバー > ロックアウト閾値：右フォークレグ底部の青色ノブ 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > プレロード：右フォークレグ上部の青色ノブ > ロックアウト青色レバー 	<ul style="list-style-type: none"> > リバウンド：ノブ (赤色) > プレロード：右フォークレグ上部の青色ノブ

リバウンド (全モデル)

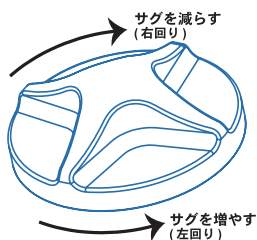
低速圧縮 (RLC のみ)

ロックアウトレバー (RLC と RL のみ)



サグの設定

お買い上げの VANILLA フォークの性能を最大限にするには、サグを設定して調節する必要があります。一般に、フォークのトラベル総量の 15-25% にサグを設定します。



1. アッパーチューブに少し摩擦が生じるぐらいにジップタイを取り付け、フォークシールに接触するまで下方に押します。注意して自転車に乗り、通常の乗車ポジションを取ります。フォークがかすかに圧縮するはずですが、それ以上フォークを圧縮しないように注意し、自転車から降ります。シールとジップタイの距離を測ります。これがお客様のサグです。
2. サグ測定値を下記のサグ設定表と照らし合わせます。

サグ値が表より低い場合は、プレロードノブを左回りに完全に 1 回転させます。必要であれば、再度サグを測り、調節します。

サグ値が表より高い場合は、プレロードノブを右回りに完全に 1 回転させます。必要であれば、再度サグを測り、調節します。プレロードノブを調節しても正しいサグ値が得られない場合は、下記のコイルスプリング設定表を参照してください。異なるスプリングレートのコイルが必要となる場合があります。

フォークのセットアップ

リバウンド、圧縮、ロックアウトおよび閾値を調節します。

フォークモデルによっては、コントロールができるものとできないものがあります。お持ちも VANILLA フォークについて、どのモデルにどのコントロールが可能かを調べるには、152 ページを参照してください。それから、138-140 ページを参照して調節を行なってください。

調節後は、サグが決して変わらないようにしてください。次ページのサグのトラブルシューティング表を参照し、通常サグの設定をチェックしたり調節することで解決できるような一般的なフォーク機能に関する問題に対処してください。

コイル・スプリングの設定

FOX 部品番号 #	スプリングレート	カラーコード	トラベル量の範囲	乗手体重 kg / トラベル量 mm	備考
039-05-010	10 lb/in	Black	100 - 130	<90-115 (41-52 kg) / 130 <90-110 (41-50) / 100	
039-05-011	18 lb/in	Purple	100 - 130	115-155 (52-70) / 130 110-130 (50-59) / 100	
039-05-012	25 lb/in	Blue	100 - 130	150-180 (68-82) / 130 130-150 (59-68) / 100	Standard on Vanilla 130
039-05-013	35 lb/in	Green	100 - 130	175-210 (79-95) / 130 150-180 (68-82) / 100	Standard on Vanilla 100
039-05-014	45 lb/in	Yellow	100	205-240+ (93-109+) / 130 175-200 (79-91) / 100	
039-05-015	60 lb/in	Orange	100	195-225 (88-102) / 100	100mm max
039-05-016	75 lb/in	Red	100	220-245 (100-111) / 100	100mm max

サグのトラブルシューティング

兆候	処置
サグが大き過ぎる状態	レートの高いコイルスプリングに変更する
サグが小さ過ぎる状態	レートの低いコイルスプリングに変更する
ボトムアウトが大き過ぎる状態	レートの高いコイルスプリングに変更する
固い乗心地、フルトラベルが有効に使われていない	レートの低いコイルスプリングに変更する

サグの設定

トラベル量:	XC / Race FIRM	フリーライド PLUSH
100mm (4")	15mm (9/16")	25mm (1")
130mm (5")	20mm (13/16")	33mm (1 5/16")

コイルスプリングの取り替え

- 26mm 6 ポイントのソケットレンチを使い、プレロードトップキャップを緩めて外します。
- 黒いスプリングスペーサー (2つのスペーサー : 130mm トラベル用1つ、100mm トラベル用1つ、80mm トラベル用は無し) を外します。
- フォークを少し圧縮してコイルスプリングを外します。その際、しっかりスプリングを引き出さないとブランジャーシャフトから分離しないことがあります。スプリングを布で拭いてカラーコードを確認します。
- 新しいスプリングをアッパーチューブに入れて取り付け、次にスペーサーを取り付けます。
- トップキャップを取り付け 1864 N-cm までトルクレンチで締めます。
- 上記の説明のようにサグ値を測定し、設定します。

フォークの維持

VANILLA Forx には、独占技術によるシールが使われ、メンテナンスを事実上無用にしています。このマニュアルの表紙裏にあるクイック・リファレンス・ガイドを参照し、交換用キットおよびシールのパートナンバーや、他の必要な情報を調べてください。



左側のフォークレグの下部にあるスロットは調整用ではありませんので、注意してください。これはベーススタッドから底部のナットを緩めるときに使用します。

トラベル量の変更

トラベルスペーサーの位置を変えることで、VANILLA 130 Forx はトラベル量を 100 mm まで減少することができ、VANILLA 100 Forx は 130 mm まで増加することができます (VANILLA 100 Forx は、必要なスペーサーを別に発送します)。トラベル量を変更した後、乗車前にフォークが正しく作動するかどうかチェックします。フォークがぐらついたり、異常なノイズを発したりする場合には、フォークを解体してスペーサーの数と方向が正しいかどうかチェックしてください。

必要な工具および付属品

26mm の 6 ポイントのソケット	10mm のソケット
トルクレンチ	1.5 mm または 2mm ヘクサキーレンチ
cc または mL 単位の計量容器	プラスチック面のあるハンマー／マレット
小型ドライバー	オイル受け皿
1 qt (946 ml) ボトルの Fox サスペンション液 (7 wt) (パートナンバー：025-03-004-A)	クラッシュワッシャー 2 個 (パートナンバー：241-01-002-C)



フォークを使った走行が 100 時間に満たない場合は、新しいオイルが必要でないことがあります。

1. 自転車あるいはフォークをバイクスタンドに置きます。26mm のソケットレンチを使用し、左側のプレロードトップキャップを外します。コイルスプリングの上部にあるスペーサー (130mm では 1つ、100mm ではなし) を取り除きます。
2. 10mm のソケットレンチを使用して、左側底部のナットを 6 回転緩めます。フォークの左側下に清潔で乾いたオイル受け皿を置きます。プラスチック面のあるハンマーで底部のナットを軽く叩き、ローアーレグからブランジャーシャフトを取り外します。底部のナットとワッシャーを緩めて外します。薄いドライバーを使ってシャフトを押し上げ、オイルを排出します。
3. 自転車またはフォークを逆にします。左側のブランジャーシャフトを押し出します。この時、コイルスプリングとブランジャーのアセンブリがアッパーチューブから出てくるはずですが、必要であれば長い薄いドライバーを使ってブランジャーシャフトを押し出します。自転車またはフォークの右側を上にして置きます。
4. ノブを取り外します：



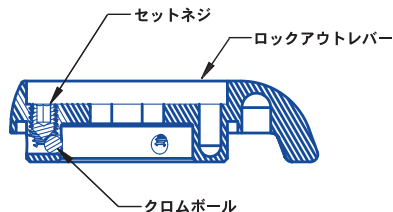
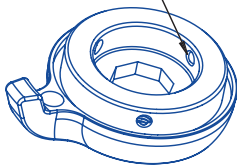
RL および RLC フォーク取り付け作業を始める前に、すべてのノブを取り外す必要があります。ノブを取り除かないと、破損する場合があります。

R モデル：26mm のソケットレンチを使って右側のダンパートップキャップを緩めます。トップキャップを取り外す際に、赤いリバウンドノブを取り外す必要はありません。

RL および RLC モデル：トップキャップを取り外す前に、右側のダンパートップキャップノブをすべて取り外す必要があります。

- a. 赤色のリバウンドノブをしっかりと押さえ、2mm のヘクサキーレンチを使ってヘッドの平らなネジを外します。赤色のリバウンドノブを上を外します。
- b. 1.5mm のヘクサキーレンチを使用して、青色のロックアウトレバー上にある 3 組のネジをそれぞれ 1 回転緩めます。青色のロックアウトレバーを上げて離します。

3つの穴の中に
見えるクロムボール



3つのクロムボールは軽く塗られたグリスによって内部に収まっています。セットになっているネジを1回転以上回さないでください。クロムボールが横の穴の中で、セットになっている先の尖ったネジを越えて外側に動いてしまう可能性があります。外側に動いた場合は、1.5mmのヘキサキーレンチを横の穴に差し込み、クロムボールをセットになっているネジの中央および内側の方向に戻します。

c. RLCのみ-低速圧縮ノブを外します。ノブの底部をチェックします。直径1/8インチのクロム・デント・ボールが、グリスから離れノブの底に付いていることがあります。この状態になった場合は、デントボールにグリスを塗り、ダンパートップキャップのリセス内の穴に戻します。小さなドライバーでデントボールを押すと、押し戻される感触があるはずです。

d. 26mmのソケットレンチを使用して、アッパーチューブからダンパートップキャップを緩めて外します。

5. 右側のダンパーシャフトのトラベルスペーサーが現われるまでフォークのローアレッジを上方に圧縮します。ダンパーのトップキャップを止まるまで引き上げます。157ページにあるVANILLA フォークトラベルスペーサー図を参照し、その図のダンパー側の方向に応じて、正しい長さのスペーサーをはめるか取り出すかを選択します。ダンパーからスペーサーを外す場合は、将来の使用に備え、安全な場所に保管します。



VANILLA 100のトラベル量は、アクセサリケットに同封される30mm ダンパートラベルスペーサーを使わずに増加することはできません。メインスプリング側が位置を変えるのに対し、ダンパー側のトラベルスペーサーは、フォークへ追加したリフォークから取り除くことができます。

6. 157ページのVANILLA フォークトラベルスペーサー図を参照して、左側のプランジャーシャフト上にある黒い負のスプリングガイドとアルミニウムコイルインサートの間に、トラベルスペーサーを追加し、または取り除きます。

7. プランジャーシャフトアセンブリを再び左側のアッパーチューブに取り付けます。底部のローアレッジの穴を通すのに、長い薄いドライバーが必要になることもあります。クラッシュワッシャーと底部のナットを取り付け、トルクレンチで565 N-cmまで締めます。

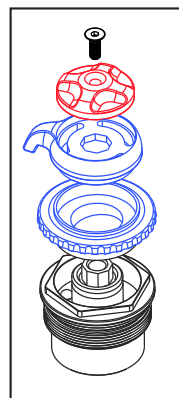
8. 左側 :30ccのFOX サスペンション液を底部の穴から入れます。(汚れていなければ、オイル受け皿のオイルを再利用することができます。) Vanilla フォークトラベルスペーサー図を参照して、コイル上部にトラベルスペーサーを取り付け、正しいトラベル量にします。プレロードトップキャップを取り付け、1865 N-cmまで締めます。

9. 右側ダンパートップキャップを指で締め、次に214N-cmのトルク値まで締めます。

10. R、RLおよびRLCへのダンパーノブの取り付け：

a. RLCのみ-低速圧縮ダイヤルの取り付け：ダイヤルの底部の溝がダンパートップキャップ内のアルミピンを越える位置まで持ってきて、青色の低速圧縮ダイヤルを取り付けます。ロックアウトレバーの取り付けを行ないやすくするために、止まるまで左方向に完全に回します。

b. ロックアウトレバーの取り付け：青色のロックアウトレバーをレンチ代わりにして、ロックアウトネジ（八角形のレンチフラット）を止まる感触があるまで右回りに回します。ロックアウトレバーをロックアウトネジ上に、レバーが約6時の位置になるように取り付けます。



ダンパーノブの方向
(RLC)

RLのみ:1.5mmのヘキサキーレンチを使い、ロックアウトレバー上の3組の各ネジを軽く締めます。各セットのネジを1/4回転させます。

RLCのみ:ロックアウトレバーおよび低速圧縮ダイヤルはスプリングの力で上向きになっており、これが通常の状態です。止まる感触があるまでロックアウトレバーを押し下げます。1.5mmのヘキサキーレンチを使い、ロックアウトレバー上の3組の各ネジを軽く締めます。各セットのネジを1/4回転させます。適切な取り付けのため、調節器が両方も回ることを確認します。

- c. **リバウンド調節ノブの取り付け**:ノブ底部のスロット部分がリバウンド調節シャフト上のフラットと一直線になるように、赤色のリバウンドノブを取り付けます。Blue Loctite 242を一滴、ヘッドの平らなネジに垂らします。ノブを、止まらない方向のどちらかへ、1-2クリック分回します。リバウンドノブをしっかりと押さえ、2mmのヘキサキーレンチを使ってヘッドの平らなネジを取り付け、しっかりと締めます。



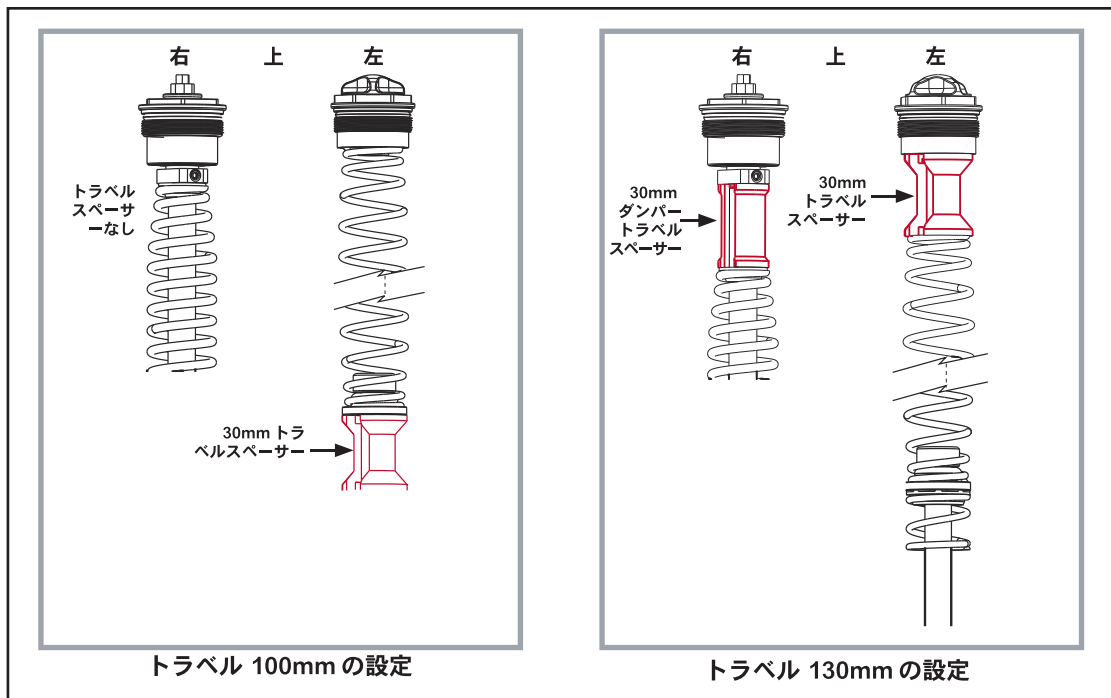
リバウンドノブのネジを締める際に、ノブをしっかりと押さえないとダンパー内部が傷つきます。

11. ダンパーノブの調整とフォークの回転:

RLおよびRLCフォーク:ロックアウトレバーをオープン(時計の3時の方向)の位置に調節します。

すべてのフォーク:リバウンド設定が正しいことを確認します(工場出荷設定は右回りに止まるまで完全にノブを回し、左回りに6クリックさせた状態)。乗車前にフォークを数回、回して正しい作動をしているかどうかチェックします。圧縮中にフォークがぐらついたり、異常なノイズを発したりする場合には、フォークを解体してスペーサーの数と方向が正しいかどうかチェックしてください。それでもフォークが明らかにぐらついたり異常なノイズを発する場合は、正規のサービスセンターまたはFOX Racing Shoxまで、修理についてお尋ねください。連絡先は、この利用者マニュアルの表紙裏に記載されています。

12. これで作業完了です。走行をお楽しみください。



Vanilla Forx トラベルスペーサー図

チューニング時の注意事項：

